

約1年半前、夫の仕事の都合で登別に引っ越してきました。

知り合いも近くにいないため、初めての土地での子育ては心配な事だらけ。そんな時、生後4カ月までの赤ちゃんの様子などを聞きに市の保健師さんが来てくださる取り組みで、子育て支援センターの存在を教えてくださいました。

当時は、外出すると子どもがすぐに泣いてしまい、外に出るのも一苦勞でしたが、子どもが7カ月のとき、市の広報紙で子育て支援センターの『ベビーマッサージ講座』のお知らせを目にしました。

これを機に外出してみようと思い電話すると、支援センターの方が「一般開放日にも気軽に遊びに来てくださいね」と言ってくださいました。

初めて行くときは緊張しましたが、

ドアを開けると、職員の方がやさしく声を掛けて迎えてくれましたし、ほかのお母さん同士も和気あいあいとした雰囲気だったので、とても安心したのを覚えています。

通い始めた当初は、子どもが緊張して人見知りをしていたのですが、何度か通ううちに少しずつ慣れ、今では皆さんに笑顔を見せるようになりました。ほかのお子さんと触れ合うことが良い刺激になっているようです。

職員の方はいろいろな視点から子育てのアドバイスをくれますし、支援センターでできたママ友とは、子どもの離乳食の内容やお昼寝などの生活リズムについて情報交換しています。同じ年齢の子どもをもつ親同士、悩みを共有し合うことで気持ちも楽になりますね。勇気を出して、支援センターに行ってみて本当に良かったです。



子育て支援センター利用者
しらたえいこ
白田 栄子さん。
さくひこ
朔一くん(1歳4カ月)

子育て支援センターで 子どもも私も笑顔に

地域子育て支援拠点

子育ての支援の場



中央子育て支援センター長
まつおか
松岡 智子

皆さんの子育てに笑顔を
咲かせ、元気にしたい

子育て支援センターに来るお母さん同士が交流して、ママ友づくりや子育て情報の交換などを行っています。心配事や悩み事をほかのお母さんに相談すると「うちの子もそうだったよ」と聞いて、「気持ちが悪くなった」と話す利用者の方もいます。

近い年齢の子どもをもつお母さんが集まる場所だからこそ共感し合い、子育ての悩みや喜びを分かち合うことができますね。

子ども同士も仲良くなり、お友達から刺激を受けて、つかまり立ちを始めするなど、子どもの成長を見ることができるのも魅力の一つです。

身内や親しい友人が近くにいない方が多くなっている中で、子育てに悩んだり、家庭に閉じこもりがちになってしまったり、子どもから目を離せない大変さからゆっくりとした時間を過ご

すことがなかなかできないお母さんに、ほっとする時間を過ごしてもらおう場として、子育て支援センターを利用してほしいと思っています。

子育ての答えは一つではありません。私たちは、何通りもある子育ての方法の中からそれぞれのお母さんと子どもにあった方法を見つけ出すサポートをしていきたいです。

子育ての心配事や悩み事、困っている事があるお母さんが子育て支援センターに来ることで元気になったり、明るく変わっていったりする姿を見ることが、私たちとてもうれしくなります。

毎日、子育てや家事を頑張っている皆さん。一人で抱え込まず、お友達をつくる場として、相談の場として、子育て支援センターへ遊びに来てくださいね。